

令和7年度尾張旭市中学校部活動の地域展開に向けた実証事業 結果概要

1 目的

令和8年9月からの休日部活動の地域クラブ活動への移行に向け、指導者確保、運営体制、既存部活動との調整、費用負担等の課題と有効性を検証するため、実証事業を実施しました。

2 各実証事業の成果と課題

(1) 企業人材を活用した地域連携（東邦ガス株式会社との第二弾実証実験）

【成果】企業人材による実践的な指導に対し、生徒の活動意欲向上や、保護者からは専門性や身元保証という観点から強い安心感が寄せられ、極めて高い評価を得ることができました。また、業務システム、部活動指導連携シートや名古屋産業大学伊藤理香准教授監修の研修プログラムの導入により、指導品質の安定と事務効率化に一定の成果を示しました。

【課題】企業側が懸念する不祥事や事故発生時のリスクや協力メリットの不明確さが障壁となり、安定的・継続的な指導者の確保には依然として高いハードルがあることが確認されました。

(2) 中学校合同クラブチームによる試行（市内3中学校バスケットボール部）

【成果】市内中学校のバスケットボール部を対象とした合同クラブチームの試行では、学校の枠を超えた生徒の交流促進や技術・意欲の向上といった、地域クラブ活動ならではの教育的価値と可能性が見出されました。

【課題】学校単位で活動する部活動の文化との間に不整合が生じたため、今後は制度的な調整や、関係者間での丁寧な合意形成プロセスの構築が不可欠であることが確認されました。

(3) 民間企業による試行的運営（ダンスクラブ）

【成果】民間企業の運営によるダンスクラブを試行した結果、市内中学校から16名の生徒が参加し、満足度100%と極めて好評でした。受益者負担として徴収した参加費（1回90分・全5回・総額5,000円）についても、概ね適切な設定として保護者の理解を得られ、市の関与による高い安心感と強い継続意向が確認されました。

【課題】活動時間の充実や施設環境（全身鏡等の整備）の改善など、参加者のニーズに応じた環境整備が求められました。

(4) 地元企業との連携

【成果】連合愛知の加盟企業から活動への協力をいただき、ダンスクラブにおいて、活動をサポートする「見守りボランティア」として参画いただきました。ボランティアの方々には開始時の準備や受付、終了時の清掃・片付けなどを担っていただき、安全安心な環境づくりに寄与したほか、生徒からもサポートに対する高い評価を得ることができました。

【課題】実際の活動時間中は特段担う業務がなく、実質的に見守りのみになってしまう状況が発生したため、今後はボランティアの方々がより有意義に参画できる役割の明確化や、効果的な活動内容の検討が必要であることが確認されました。

3 総括

実証を通じて、生徒の多様な活動機会の確保や意欲向上において、地域クラブ活動の有効性が強く確認されました。一方で、持続可能な運営に向けては、指導者の安定的確保、大会制度との整合性、関係者の合意形成など、乗り越えるべき課題も明確となりました。

今後はこれらの課題に対して、市が総括責任を担う体制のもとで安全かつ安定的な地域クラブの運営を進めます。